

■第1学年(105時間)

学期	月	時数	地理的分野	歴史的分野	
一学期 (37)	前期 (52)	4	7	第1編 世界と日本の地域構成 第1章 世界の地域構成【5】 第2章 日本の地域構成【4】	第1章 歴史のとらえ方・調べ方【6】 1 私たちと歴史 (3) 2 身近な地域の歴史 (3) 第2章 原始・古代の日本と世界【17】 1 人類の出現と文明のおこり (5) 2 日本の成り立ちと倭の王権 (3) 3 大帝国の出現と律令国家の形成 (3) 4 貴族社会の発展 (4) 学習のまとめと表現 (2)
		5	11		
		6	12		
		7	7		
			予備【5】		
二学期 (42)	後期 (53)	9	11	第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界の人々の生活と環境【8】 第2章 世界の諸地域【16/28】 1 アジア州 (7) 2 ヨーロッパ州 (6) 3 アフリカ州 (3)	第3章 中世の日本と世界【15】 1 武家政治の始まり (5) 2 ユーラシアの動きと武家政治と変化 (5) 3 結びつく民衆と下剋上の社会 (3) 学習のまとめと表現 (2)
		10	12		
		11	12		
		12	7		
			予備【5】		
三学期 (26)		1	9	第3章 世界の諸地域【12/28】 4 北アメリカ州 (5) 5 南アメリカ州 (4) 6 オセアニア州 (3)	第4章 近世の日本と世界【7/20】 1 結びつく世界との出会い (4) 2 天下統一への歩み (3)
		2	12		
		3	5		
			予備【7】		
合計		105	地理 45 / 歴史 52 [予備 8]		

■第2学年(105時間)

学期	月	時数	地理的分野	歴史的分野	
一学期 (37)	前期 (51)	4	7	第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の方法を学ぼう【6】 第2章 日本の特色と地域区分【11】	第4章 近世の日本と世界【13/20】 3 幕藩体制の確立と鎖国 (5) 4 経済の成長と幕政の改革 (6) 学習のまとめと表現 (2)
		5	11		
		6	12		
		7	7		
			予備【7】		
二学期 (42)	後期 (54)	9	11	第3章 日本の諸地域【15/35】 1 九州地方 (5) 2 中国・四国地方 (5) 3 近畿地方 (5)	第5章 日本の近代化と国際社会【25】 1 近代世界の確立とアジア (5) 2 開国と幕府政治の終わり (3) 3 明治維新と立憲国家への歩み (7) 4 激動する東アジアと日清・日露戦争 (5) 5 近代の産業と文化の発展 (3) 学習のまとめと表現 (2)
		10	12		
		11	12		
		12	7		
			予備【2】		

三 学 期 (26)	後 期 (54)	1	9	<b>第3章 日本の諸地域【20/35】</b> 4 中部地方 (5) 5 関東地方 (5) 6 東北地方 (5) 7 北海道地方 (5)
		2	12	
		3	5	<b>第4章 地域のあり方【3】</b>
合 計		105	予 備【3】	
		地理 55 / 歴史 39 [予備 11]		

### ■第3学年(140時間)

学期	月	時数	歴史的分野		
一 学 期 (49)	前 期 (66)	4	9	<b>第6章 二度の世界大戦と日本【19】</b> 1 第一次世界大戦と民族独立の動き (5) 2 大正デモクラシー (3) 3 恐慌から戦争へ (5) 4 第二次世界大戦と日本の敗戦 (4) 学習のまとめと表現 (2)	
		5	15	<b>第7章 現代の日本と世界【14】</b> 1 日本の民主化と冷戦 (4) 2 世界の多極化と日本 (4) 3 冷戦の終結とこれからの日本 (4) 学習のまとめと表現 (2)	
		6	16	◆歴史学習の終わりに【3】	
	二 学 期 (58)	前 期 (66)	7	9	公民的分野 <b>第1章 私たちの暮らしと現代社会【10】</b> 学習のはじめに 現代の社会ってどんな社会だろう (1) 1 私たちが生きる現代社会 (3) 2 現代につながる伝統と文化 (2) 3 私たちがつくるこれからの社会 (4)
			9	16	予 備【3】
		後 期 (74)	10	16	<b>第2章 個人を尊重する日本国憲法【17】</b> 学習のはじめに 日本国憲法の最も大切な考え方とはなんだろう (1) 1 日本国憲法の成り立ちと国民主権 (3) 2 憲法が保障する基本的人権 (11) 3 私たちと平和主義 (2)
			11	16	<b>第3章 私たちの暮らしと民主政治【18】</b> 学習のはじめに 地方議会ウォッチングに行こう (1) 1 民主政治と日本の政治 (5) 2 三権分立のしくみと私たちの政治参加 (8) 3 地方自治と住民の参加 (4)
三 学 期 (33)	後 期 (74)	12	10	<b>第4章 私たちの暮らしと経済【17】</b> 学習のはじめに もしもすべての給食を一人で作ったら (1) 1 消費生活と経済活動 (3) 2 企業の生産のしくみと労働 (5) 3 市場のしくみとはたらき (2) 4 金融のしくみと財政の役割 (6)	
		1	12	予 備【6】	
		2	16	<b>第5章 安心して豊かに暮らせる社会【8】</b> 学習のはじめに 私たちの15年を振り返ってみよう (1) 1 暮らしを支える社会保障 (4) 2 これからの日本経済の課題 (3)	
三 学 期 (33)	後 期 (74)	3	5	<b>第6章 国際社会に生きる私たち【14】</b> 学習のはじめに 「持続不可能」から「持続可能」へ (1) 1 国際社会の平和を旨として (6) 2 国際社会が抱える課題と私たち (7)	
		3	5	<b>終章 私たちが未来の社会を築く【4】</b> 1 持続可能な未来の社会へ (4)	
合 計		140	予 備【7】		
		歴史 36 / 公民 88 [予備 16]			

### ◇学習指導計画の作成にあたって

- \* 「学校教育法施行規則」における社会の標準授業時数は、第1学年：105時間、第2学年：105時間、第3学年：140時間です。また、分野ごとの授業時数は、地理的分野：115時間、歴史的分野：135時間、公民的分野：100時間です。本指導計画では、地域や学校の事情に応じて弾力的に運用できるように、「予備」の時数も含めて作成してありますのでご留意願います。
- \* 地理的分野は第1～2学年で、歴史的分野は第1～3学年で、公民的分野は第3学年で履修することになります。本指導計画は、学習指導要領に基づき、第1～2学年では地理と歴史を並行して(π型)、第3学年では歴史を先行して学習することを想定して作成してあります。
- \* 地理と歴史の並行学習については、章や節といった内容のまとまりを重視しながらも、できる限り学期ごとの履修が偏らないように配分した標準案です。地理と歴史の学習順序や切り替える単位に関しては、適宜変更することも可能です。
- \* 学期や月ごとの時数についても、週あたりの標準時数(第1～2学年：3時間、第3学年：4時間)をもとに配分した案ですので、地域や学校の事情に応じて弾力的に調整願います。
- \* 「予備」の時数は、地理の「学習のまとめと表現」や各分野の「特設ページ」の学習、評価(テスト)などに充当できるように確保したものです。なお、歴史の「学習のまとめと表現」については、学習指導要領の内容項目として位置づけられていることから、本時と同列に示しています。

\*注①：地理の「身近な地域の調査」については、第2学年の最初に位置づけていますが、「日本の諸地域」の学習と組み合わせることも可能です。

\*注②：歴史の「身近な地域の歴史を調べる活動」については、便宜上第3学年の最初に位置づけていますが、地域や学校の事情、活動内容等に応じて、適宜時期を組み替えたり、第1章以外の各章に設けられている特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」を学習事例としたりして、学習を深めることができます。